

「疑似科学とのつきあいかた」 2012.5.2  
超能力・UFO・宇宙人(前半)  
南京事件否定論(後半)

長島雅裕（長崎大学教育学部）  
キーワード：人は見たいものだけを見る

- 時間の関係で、配ったプリントのうち実際にお話するのは一部です。
- スキップした話題で興味のあるものがあったら、また聞きに来てください。
- ユリ・ゲラー：1946年イスラエル生まれ。1969年から超能力の演示を始めたらしい。



# スプーン曲げの使い道を考えよう

---

- スプーン曲げができるのだったら、
  - ▶ 手術に活かせるんじゃないか？
  - ▶ 災害救助に活かせるんじゃないか？
  - ▶ 新素材の開発に活かせるんじゃないか？
- 色々応用が広がりそう。世のためにもなるし、お金も稼げそうだ
- しかし、スプーン曲げが話題になって40年もたつのに、応用される気配がまったくない。
  - ▶ つまり、「超能力」ではないのだろう、と推測される
- 「これができるんだったら、あれもできんじゃないか？」と考えることは、トリックに気付く第一歩。
  - ▶ 現象同士の関係を探る。科学的思考に不可欠。
- 誰でもできるのにやろうとしなかった!

# 超能力とは？

---

- 科学的に合理的な説明のつかない現象を引き起こす能力
  - ▶ ESP(Extra-Sensory Perception; 超感覚知覚)
    - テレパシー、透視、予知など
  - ▶ テレキネシス／サイコキネシス、テレポーテーション
    - スプーン曲げもこの一種
- 「超心理学」と呼ばれる分野の研究者が研究している
- が、科学的な検証に基づき実証されたものはない
  - ▶ 「ある」とする研究は、たいてい穴がある
  - ▶ 「あってほしい」という願望の表れ？
- SFに限らず、多くの小説・マンガ・映画等で使われている
  - ▶ 「あったらどうなるだろう」と想像するのは楽しい

# 予言(2011年作成)

どれも本物の消印ですよ!

消印：4/28, 4/29, 5/2, 5/6



5/2投票だった

カナタの総選挙では、  
保守党が単独過半数を  
獲得するであろう

(4月29日)

5月1日アメリカにより  
ゼンラフデインは被害を  
海に葬らるであろう

(4月28日)

5/6

平泉と小笠原諸島が  
世界遺産に登録さ  
るであろう

(5月6日)

英国原産の停止を  
菅首相が求める  
であろう

(5月2日)

5/6に方針決定(新聞報道は5/7)

# 予知能力

---

- 未来に起こる現象を予測する(科学的・合理的な「予知」は除く)
- たいていトリックがある
  - ▶ 「驚異的な的中率」と謳われるが、よく調べるとことごとく外れている
    - 「超能力番組」にはこの手の捏造が多い
  - ▶ どうとても解釈できる言明
    - 必ず当たる予知「いつか地震が起きる」時刻と場所を指定しなければ意味がない
  - ▶ 後から知ったのに、日付をごまかす
    - 裏が白紙の葉書を自分宛に出す(宛名は鉛筆で薄く書く)。後日、地震や事件などをさも予知していたかのように裏に書き、宛名を消して任意の人の住所氏名を書き、自分で投函する(自分宛の場合は消さなくても良い)。こうすると、まるで予知したかのように思わせることができる。
      - ジュセリーノとかはこの類のよう。

『エスパー魔美』  
藤子・F・不二雄  
「大予言者あらわる」

# 捏造・強弁・曖昧

---

- 「FBI超能力捜査官」 ジョー・マクモニーグル
  - ▶ FBIに「超能力捜査官」などいない。そもそも彼はFBIに雇われていない。日本テレビが勝手につけた呼称。
  - ▶ テレビでは、1979年のイランのアメリカ大使館占拠事件をアメリカにいながら解決に導き、人質64人を救出、と紹介されるが、そもそも作戦は失敗、人質は1年以上たってイラン政府により解放。
  - ▶ 自伝でも書かれている。
  - ▶ 日本テレビのスタッフによる創作と思われる。
  - ▶ 番組中に「当てた」というのも、よくよく見ると外れている
- 曖昧な「手がかり」を予知・透視のキーワードにする
  - ▶ 「数字の3に関係があります」→数字はそこらじゅうにある
  - ▶ 「水に関係しています」→関係していない所の方が珍しい

# 外気功、サイコキネシス

---

- 念ずることで、離れた物体を動かす
- 離れたところに立っている人を倒したり…
- 釣り糸や磁石などのトリックがあったり、人の場合は暗示で倒れてしまったりする
  - ▶ 気を与える人が見えないところにいると(ついたての向こうや別の部屋)、どんなに頑張っても倒れない
- 相手を台車の上に立たせて倒せば検証できる
  - ▶ 力が働いているなら台車ごと向こうに動く
  - ▶ 暗示で倒れるなら、倒れた方向と反対側に台車が動く



# テレパシー



ゼナーカード

- 相手の考えていることがわかる
- アポロ14号で実験が行われた(NASAとは無関係に)
  - ▶ 宇宙飛行士ミッチェルが、1～5の数字をランダムに並べ、数字に対応するゼナーカードの記号を頭に描いた
    - 1つにつき15秒、1日25もしくはは50個
  - ▶ のべ4日間実施、地上で4人の「超能力者」が受信
  - ▶ 帰還後、照合した→「ベリーグッド」と評価
  - ▶ しかし、
    - 1人は送信されたものより多くの記号を受信してしまった
    - 実験開始時刻が遅れたにもかかわらず、当初予定の時刻に受信をはじめた者もいた→「予知」であると強弁
    - 実験が「成功」とされたのは、当たり率が高いためではなく、「当たりの割合が驚くほど低かった」から!(サイ・ミッシング)
- 超能力実験の「成功」は、たいていこのようなコジツケ

# ジェームズ・ランディ

---

- アメリカの奇術師(1928-)。心霊術やオカルト、超能力などを暴き続けている。
- 100万ドル超能力チャレンジ：「科学的に実証できる超能力を持つ者に、100万ドルを進呈する」として、1964年以来、のべ1000人以上が挑戦したとされるが、成功した者はいない。
  - ▶ 『水からの伝言』の江本勝氏に対しても「挑戦してみろ」と言われているが、本人は逃げている。
- 我々は、タネがあるとわかっているにもかかわらず、一流の手品師のトリックを見破ることはできない。科学者も同じ。自分の「眼」に自信を持っていると、コロッと騙される。

# チャネリング

---

- チャネラーが、「霊体」との意思疎通を目的として、体内へ霊体を侵入させたり、「宇宙人」や「高次元の存在」と交信すること(シャーリー・マクレーンなど)
- **最近の例：マシュー君**
  - ▶ 1980年に17歳で事故で亡くなった。その14年後、母親とテレパシー交信ができるようになった。
  - ▶ 「マシュー君」からのメッセージが公開されているのだが…
- **受信者(生きている方)が求める内容になってしまう。中身が荒唐無稽である場合も多い。**
  - ▶ マシュー君の場合、「イルミナティ」など陰謀論で頻出するキーワードが出てくる
- 恐山のイタコのように、文化として死者を受容するプロセスを担っているようなものであればともかく、受信したメッセージに本気になって行動を起こすと問題<sup>1</sup>が生じかねない

マシュー君の事故死から14年後の1994年に、テレパシー通信による母と子の会話が始まったわけですが、その背後には、銀河系全体を統治する宇宙評議会が神の意向を受けて、宇宙文明人たちを選んでその各代表に、地球のアセンションに際して地球人類にその意味と導きを与えるように依頼しました。その通信担当に選ばれたのがマシュー君で、コーディネーター役を務め、お母さんのスージーさんがその受信者であり、地球側の発信者として選ばれたのです。ですから、ここに登場するETたちは、みなマシュー君が日頃親しくしている宇宙の仲間たちと言ってもよいでしょう。

彼らがどのような存在なのか、本の中から説明をすこし書きましょう。

イカルスは、シリウス星の付近にあるレドンドーレというところに住む文明人たちの代表です。ラザラスは、同様にシリウス星から来ている宇宙で高い尊敬を受けている存在たちの代表で、彼らは普段個人としての肉体はなく、全体として宇宙の広大な領域に広がるエネルギー体として存在しています。でもそのエネルギー部分が肉体化する場合もあって、そのときはその姿と容貌が地球の白人種に似ているそうです。ギリシャ神話に出て来る同じ名前のプロメテウスは、地球からもっとも離れたオリオン星座の中のある惑星にある文明社会からの代表です。ラザラスの仲間たちと同様に、普段は個人という個別の存在ではなく、魂の集団的な存在としてあるようです。アグネスは、地球に最初に人類をもたらした宇宙人たちを祖先に持つ文明社会の代表です。マシュー君とスージーさんは、かつてその社会と一緒に暮らしていたそうです。最後のメンタも10億ほどの集合魂からなる巨大なエネルギー体として存在する文明人たちの代表です。彼らが肉体化するときは、リラ星座を超えた銀河系の中のレトルノという惑星に住んでいます。

「玄のリモ農園ダイアリー」

(マシュー君のメッセージは「Matthew Books」という本になっており、その訳者・森田玄氏のブログ [http://moritagen.blogspot.com/2009/08/blog-post\\_31.html](http://moritagen.blogspot.com/2009/08/blog-post_31.html))

1) これは私マシューから2008年初頭のあなた方への挨拶である。今年は驚くべき決定的な年になるであろう。

2) 世界の目と耳がアメリカの大統領予備選に注がれているが、それはサーカスにすぎない。

ヒラリーはイルミナティの指名する次期大統領候補である。それは彼女が世界のイルミナティ・グループの中でもっとも影響力を持っているからだ。

かれらは不正な投票操作で、自分たちが選んだ候補が各地域でトップ当選するように仕組んでいる。

これらの候補が各党の有力指名候補であるかぎり、かれらはイルミナティが満足する話題だけを取りあげ、本当のことを語らないであろう。

このように大統領の一般教書演説は本当のものは隠され、かれらの意向にそったものになっている。

アルカイダたちによるテロの世界という無慈悲な宣伝文句に、投票者たちはいったい誰を信じ、大統領の権力を任せていいのか分からなくなっている。

イルミナティの意向に逆らう候補はメディアから外されることは自明である。

しかし11月の大統領選挙前に、候補者たちの正体が光明エネルギーによって暴露されるだけでなく、投票も正確な数が数えられるだろう。

イルミナティはホワイトハウスに自分たちの候補を送り込もうとするだろうが、地球人類と慈悲深い地球外生命体(ET)の協力で、その悪の計画を挫くための強力な動きが進行中である。

さいごにはあらゆる国の指導者は正直で賢明で能力ある者たちになるであろう。

(3以降は略)

# UFOとは？

---

- Unidentified Flying Objects (UFOs)。未確認飛行物体。「宇宙人の乗り物」という意味では(本来)ない。
- 飛んでいる物体を見て、それがなにかわからなければ、その時点ではそれはUFO。
  - ▶ 一般に、安全保障上UFOを探知することは重要であろう(宇宙人とは無関係に)

# 宇宙人解剖フィルム

---

- 1947年、アメリカ・ニューメキシコ州ロズウェル近郊に墜落したUFOに登場していた宇宙人の死体を解剖した極秘フィルム



- 2006年に、フィルムの制作者が名乗り出、偽物であると告白。しかし、一旦信じてしまった人々は、それすら虚偽の告白ではと疑い、信じ続けている。
- 「宇宙人解剖フィルム」「Alien Autopsy」などで検索してみてください。ネット上にあります。
- もし本物なら、CIAだかMIBだかに消されてしまう…？



# ロズウェルUFO事件(1947年7月)



## Roswell Daily Record

RECORD PHONES  
Business Office 2288  
News Department  
2287

NUMBER 99. ESTABLISHED 1848 ROSWELL, NEW MEXICO, TUESDAY, JULY 8, 1947

Leased Wire  
Associated Press

es as Usual

### GRAND

FRIDAY, SATURDAY  
FURNISHING HOME AND WESTERN  
THE COMIC CARTOONS

### Claims Army Is Stacking Courts Martial

Indiana Senator Lays Protest Before Patterson

Washington, July 8 (AP)—Senator Jenner (R-Ind.) contended today that "the high command in the European theatre is stacking courts martial defendants in court martial."

In a letter to Secretary of War Patterson demanding a full investigation of army military trial procedures, Jenner asserted what he said was documentary proof that:

1. "Prisoners are not being permitted to employ either civilian or military counsel of their own choice in the preparation and presentation of their defense."
2. "Every effort is being made to prevent attorneys who were associated with the Ludlow-Litchfield prison case to practice in courts martial in the European theatre."
3. "Every effort is being made to prevent attorneys who were associated with the Ludlow-Litchfield prison case to practice in courts martial in the European theatre."

The Indiana senator made public a copy of an informal "routing slip" which he said was signed by Brig. Gen. Carlisle E. Ryan, assistant deputy, military government headquarters for the military government for Germany, and written by Col. Francis H. Vandover, Jenner told newspapermen that the routing slip substantiated his charges.

The slip, addressed to the chief of staff, WHEAT (presumably US forces, European theatre), was dated last Oct. 23.

It called attention to the impending arrival of Earl A. Carroll and Thomas Lester Fryer, California attorneys, to act as special defense counsel for the prisoners then awaiting trial by general court martial at Tamm Barracks, Ind. Main.

Jenner identified Carroll as a former prisoner of war who was being held at the Ludlow-Litchfield prison in Germany.

Carroll, then an army captain, retained an assistant prosecutor in the Ludlow-Litchfield prison case, Jenner said.

The slip also called attention to the fact that Carroll had been convicted and fined.

The routing slip said that Carroll had received widespread publicity "by virtue of attacks on the government by the press and radio."

Jenner said that Fryer is an attorney who had been convicted of a crime in the European theatre.

## RAAF Captures Flying Saucer On Ranch in Roswell Region

The Roswell office of the Sixth Reconnaissance group at Roswell Army Air Field announced at noon today that the field has come into possession of a flying saucer.

According to information released by the department, one subsidiary of Maj. J. A. Stewart, intelligence officer, the disk was recovered on a ranch in the Roswell vicinity. After an accident had occurred on the ranch, Major Stewart and a detail from his department went to the ranch and recovered the disk. It was stated.

After the intelligence office had inspected the instrument it has been turned over to the department for further investigation.

The intelligence office stated that no details of the saucer's construction or its appearance have been revealed.

Mr. and Mrs. Dan Wilson apparently were the only persons at Roswell who have seen what they thought was a flying disk.

They were sitting on their porch at 183 South Park last Saturday night at about ten minutes before ten o'clock when a large glowing object zoomed out of the sky from the southeast, came on a northerly direction at a high rate of speed.

Mr. and Mrs. Wilson's attention was attracted to it and when the disk was about 100 feet high and about 100 feet in diameter, it came on a northerly direction at a high rate of speed.

Wilson said that it appeared to have a diameter of about 100 feet and a height of about 100 feet. It was in appearance it looked like a saucer.

### Ex-King Carol Weds Mme. Lucescu



Former King Carol of Romania and Mme. Elena Lucescu relax aboard the S. S. America bound for Cuba and Mexico in May, 1941. A member of Carol's household in Rio de Janeiro said the ex-king and his companion for 23 years in reign and exile were recently married at their hotel Copacabana Palace suite. (AP Wirephoto).

Levees broke and flood waters rolled into the town of Grand Tower, Ill., but while the manager of the movie theater sweeps out the water that has entered the lobby these youngsters are standing in line for tickets for the night's performance. (AP Wirephoto).

### Some of Soviet Satellites May Attend Paris Meeting

Paris, July 8 (AP)—Indications mounted today that at least some of the nations which the former Soviet would attend the Paris conference on the Marshall plan.

A Sofia dispatch quoted an authoritative source as saying probably Bulgaria and Greece will be in the number, which will meet in Paris Saturday. The dispatch said the Bulgarian council of ministers was meeting to reach a decision in the matter.

Despite a Moscow radio report that Yugoslavia had rejected the British-French invitation to participate, observers in Belgrade said the Yugoslavs still had not replied, and probably will do so before Thursday — the deadline for an

### House Passes Tax Slash by Large Margin

Defeat Amendment By Demos to Remove Many from Rolls

Washington, July 8 (AP)—The House passed today a bill to cut income taxes by \$4,000,000,000 annually for 43,000,000 taxpayers beginning Jan. 1.

It goes to the senate where approval also is forecast.

The vote was 302 to 11, or more than the two-thirds majority needed to override a presidential veto.

The action, which may encourage another presidential veto, came after House Speaker Carl Albert personally appealed to the House to pass the bill by such a decisive vote as to persuade the president that the people should have this "defeat" bill.

The measure is identical with one voted by President Truman June 16 as "the wrong kind of tax reduction at the wrong time" — except that the effective date is changed from July 1, 1947 to Jan. 1, 1948.

Congress leaders expect to have the revised bill on Mr. Truman's desk before the week ends.

The House passed the bill after the Republicans had back a proposed Democratic substitute that would have reduced taxes by \$2,719,000,000 and removed 4,500,000 tax-paying persons from the tax rolls completely.

### Security Council Paves Way to Talks On Arms Reductions

Lake Success, July 8 (AP)—The United Nations security council today approved an American proposal for a meeting to discuss arms reductions despite a Russian veto.

The plan would bring about a cessation of arms race efforts.

Lake Success, July 8 (AP)—The United Nations security council today approved an American proposal for a meeting to discuss arms reductions despite a Russian veto.

The plan would bring about a cessation of arms race efforts.

### No Details of Flying Disk Are Revealed

Roswell Hardware Man and Wife Report Disk Seen

The Roswell office of the Sixth Reconnaissance group at Roswell Army Air Field announced at noon today that the field has come into possession of a flying saucer.

According to information released by the department, one subsidiary of Maj. J. A. Stewart, intelligence officer, the disk was recovered on a ranch in the Roswell vicinity. After an accident had occurred on the ranch, Major Stewart and a detail from his department went to the ranch and recovered the disk. It was stated.

After the intelligence office had inspected the instrument it has been turned over to the department for further investigation.

The intelligence office stated that no details of the saucer's construction or its appearance have been revealed.

Mr. and Mrs. Dan Wilson apparently were the only persons at Roswell who have seen what they thought was a flying disk.

They were sitting on their porch at 183 South Park last Saturday night at about ten minutes before ten o'clock when a large glowing object zoomed out of the sky from the southeast, came on a northerly direction at a high rate of speed.

Mr. and Mrs. Wilson's attention was attracted to it and when the disk was about 100 feet high and about 100 feet in diameter, it came on a northerly direction at a high rate of speed.

Wilson said that it appeared to have a diameter of about 100 feet and a height of about 100 feet. It was in appearance it looked like a saucer.

### Miners and Operators Sign Highest Wage Pact in History

Washington, July 8 (AP)—A national agreement averring a nationwide coal strike was averted today by John L. Lewis and a majority of the bituminous coal operators.

In announcing the signing, Lewis said a seven conference that it is "reasonable to assume" the coal industry will accept the agreement within a few days.

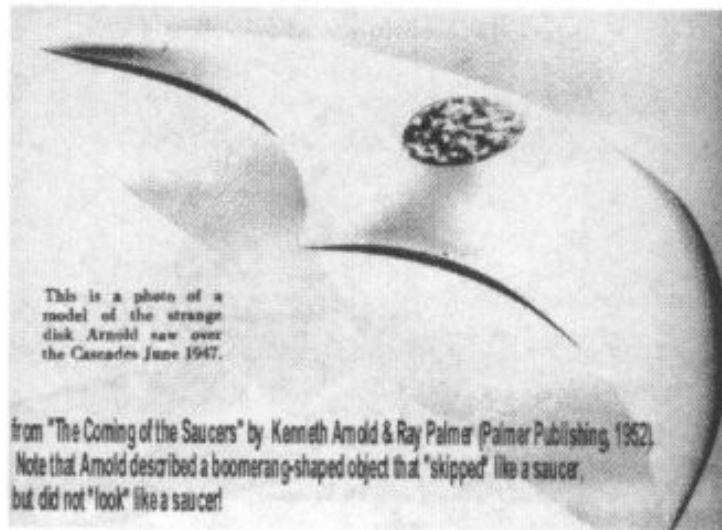
The men have been on a 30-day strike, which ended last night. Lewis had told them to await a final signing of the contract before going back to the pits.

実際は、軍の極秘気球だったとされる(モーグル計画：ソ連の核実験を音波を用いて探知する計画)



# 「空飛ぶ円盤」

- 発端は、1947年6月、ケネス・アーノルド（実業家）が操縦する飛行機から奇妙な物体を目撃したことにあ  
る。
- おそらく、軍の気球だったと思われる（当時は機密で  
あった）。
- 「皿が水切りをするような」飛び方であった、と報  
告。



図版①：1947年にアーノルドが目撃した飛行物体のイラスト。これが空飛ぶ円盤神話のきっかけとなった



# ジョージ・アダムスキー

24  
25



「第2集 写真で見る空飛ぶ円盤・宇宙人200集」  
矢追純一 編・著

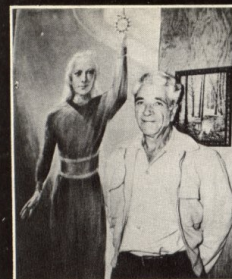
金星人と会見  
アダムスキー型UFO

空飛ぶ円盤やUFOについて語る時、ジョージ・アダムスキーの名を忘れるわけにはいかない。当時アメリカカリフォルニア州パロマーガーデンに住んでいたアダムスキーは自宅の天体望遠鏡でいくどもUFOを発見、写真撮影に成功した。1952年11月20日にはカリフォルニア砂漠でUFOから降りて来た宇宙人と会見その時に渡したフィルムに宇宙人からのメッセージを写したものを、翌月13日に空から受取る(前集「写真で見る空

飛ぶ円盤 200集」のP.130-131)など不思議な体験を次々と発見し世界中に大反響をよんだ。その後、アダムスキーは宇宙人に招かれて円盤の母船に乗り込み月へも行って来たと言っている。彼の会った宇宙人は、いずれも我々人間とそう変わらない姿で非常に優れた人格の持主であったという。アダムスキーは宇宙人から学んだ宇宙哲学を普及する努力を続けたが、ついに1965年74才でこの世を去った。



(右上)アダムスキーの撮った円盤の母船。窓に宇宙人らしい影が見える。  
(右下)母船から飛び立つ円盤群。  
(左上・下)円盤のクロースアップ。(この型はアダムスキータイプの円盤と呼ばれている。)



美人型の宇宙人

この地球上に現われる宇宙人の中には整った顔だちをした人間と変わらない容姿のものがあるらしい。有名な円盤研究家ジョージ・アダムスキー(故人)は何度もそういう宇宙人に会った。これはアメリカカリフォルニアのアダムスキーの講演会場に現われた謎の美人で、会場にいたブラジルの記者ジョアン・マルタンの撮影したたった1枚の写真である。彼女?は忽然と会場に現われ大勢の人々の質問に何一つ答えられず、いつの間にか姿を消して2度とこの世に現われることがなかった住所性別年齢国籍不明の怪物で会場にいた人々によってあれは宇宙人だと噂された。よく見ると、目・鼻・唇が異常に大きく、顔が広く髪の毛は頭に貼りついているように薄い。

「この3人だけが何故かとびぬけて整った顔だちをしていて、メーカーキャップをした俳優のようであるところが興味深い」なんでも疑う理由になる



これはアメリカニュージャージー州のフランク・ストレンジ博士のUFO研究サークルの会合に現われた「ヴァリアント・ソー」と名乗る宇宙人を、オーガスト・ロバーツが秘かに望遠レンズで撮影したものといわれている。彼の話によると、写真手前の紙片を持ったのが「ソー」で、その隣の2人の男女も宇宙人らしいとのことである。そういえば、この3人だけが何故かとびぬけて整った顔だちをしていて、メーカーキャップをした俳優のように興味深い。いずれにしても、これらの写真に詳しいは詳細がわからず真偽不明である。



# 矢追純一

---

- 元日本テレビディレクター。
- 現在、「イオンド大学」教授。「未知現象研究学部」。

<http://www.iond-univ.org/professor/professor3.html>

- パンフレットの「学位商法」の項を参照してください。
- 私も子どものころは、矢追純一の番組に胸を踊らせたものでした…

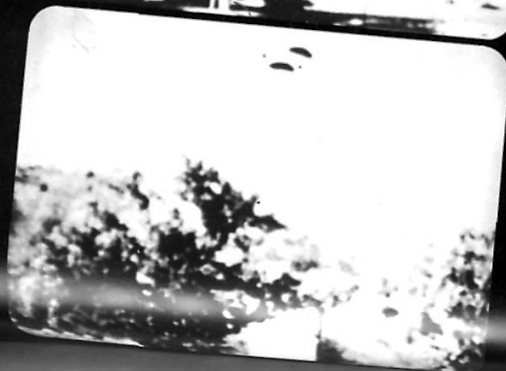


# UFOの目撃証言・写真

---

- 大半が、星や飛行機、雲の見間違い
  - ▶ 静止した星でも、暗闇でじっと見ていると急に動き出す錯覚に陥ることが知られている(「自動運動」、心理学用語)
  - ▶ ベテランパイロットでも間違える
  - ▶ 集団でも間違える
    - 錯視を思い出そう(血液型性格判断)
- トリックが暴かれたものも多い
  - ▶ 糸で釣るしていた、模型を飛ばした
  - ▶ グラスワーク
- 欧米の政府機関が調査した結果、結局「宇宙人の乗り物」と判定されるようなものはなかった(全部が説明されたわけではないが)
  - ▶ フランスは今でもやっている <http://www.cnes-geipan.fr/> 20

『エスパー魔美』  
藤子・F・不二雄  
「未確認飛行物体!？」



ジョージ・アダムスキーが  
とらえたUFOフィルム

1953年3月。有名なUFO研究家のジョージ・アダムスキーは、カリフォルニアでUFO 8ミリフィルム撮影に成功した。光を全然反射しないために、真黒に写っている円盤型UFOが自動車道の上空を、左右に目まぐるしく飛び回り最初1つだったUFOが突然2つにふえたのが、



1966年12月15日。イギリスロンドンの南ストリートハム郊外に現われたUFO。カメラマンのアンソニー・ラッセルがカメラテスト中、上空から石が落ちて来るように思い撮影しようとカメラを構えると突然空中に停止静かに左右にゆれていた。約1分後、西北



# アブダクション (誘拐)

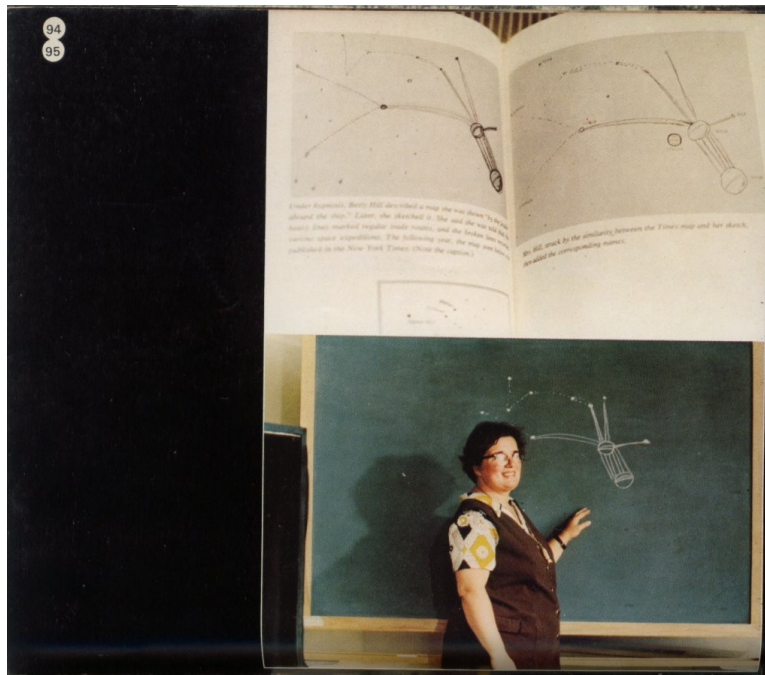


アメリカの  
ベティ・ヒル夫人は宇宙人に  
記憶を消された!!

1971年9月11日。故バーニとベティのヒル夫妻は世にも不思議な体験をした。その日2人はナイアガラの滝見物に出かけた帰り、ニューハンプシャー州ポーツマスへ愛車を走らせていた。コールブルックという所を通り過ぎたあたりから円盤らしいものに尾行されているのに気が付いた。すると、その円盤が見る見るうちに大きくなり2人に向けて飛んで来るではないか。そしてとうとう目の前に着陸した……と思った瞬間、2人の記憶はなくなり、次に気が付いた時は自宅近くのハイウェイを車で走っていたのである。帰宅してから時間を計ると、2人の記憶に2時間の空白があることがわかった。その後心理学者のベンジャミン・サイモン博士が2人に催眠術を



かけて記憶を引き出してみると、2人は宇宙人に円盤の中へ連れ込まれ身体検査をされたあと記憶を消されて帰されたのである。ベティ・ヒル夫人はその時の宇宙人の顔を思い出し92ページの絵を描いた。また、宇宙人が見せてくれた彼等の星から地球までの航行図も思い出し、その図も描いて発表した。この星間航行図から次に述べるような大変な事がわかったのである。  
(p92) ベティの描いた宇宙人の顔  
(p93) ヒル夫妻とベティ夫人



ついに解明された  
宇宙人の基地星

ベティ・ヒル夫人の発表した星間航行図を9年間もかかって研究した結果、ついに宇宙人の基地星を発見した人がいる。オハイオ州オークハーバーに住む小学校の数学の先生マージョリー・フィッシュさんは、1964年に発表されたヒル夫人の星間航行図を確かめてみようと思立ち、来る日も来る日も天文台や大学の天文学教室へ通い精密な星座表を手に入れて天文学の勉強に明け暮れた。星座表をもとに星座の立体模型を作り、毎日あらゆる方向から眺めた。宇宙人がヒル夫人に見せた星間航行図は、いったいどの方角から見て描いたのか……三次元のもの平面に描いたもの



だからわからないからである日、ついに図にびつりの位置にある星を発見したのである。しかも驚いたことに図にあった3つの正三角形をなしている星は、1969年になるまで地球上では発見されていなかった星だったのである。1961年に宇宙人に見せてもらい1964年にその図を発表したヒル夫人がこの3つの星の存在を知っているわけがない。宇宙人だからこそこれらの星を知っていたのであり、ヒル夫妻は本当に宇宙人に会ったのだとしか考えられないのである。(ミシシッピ州に現われた宇宙人からここまでの詳細は前著「空飛ぶ円盤を追って」を参照されたい)  
(p94の上)ヒル夫人の描いた宇宙人の星間航行図  
(同・下)フィッシュさんと星間航行図  
(p95の上)星座の立体模型を説明するフィッシュさん  
(同・下)わかり易く簡単にした立体模型

Aは太陽  
Bは宇宙人の基地星  
Cは1969年に発見された3つの星

# ヒル夫妻誘拐「事件」

---

- ベティ & バーニー・ヒル夫妻は、1961年、休暇先から自宅に車で戻る途中、「空白の時間」があったことに後日気付いた。
- 催眠下でそのときの記憶を思い出したところ、宇宙人に誘拐されていた。
- 宇宙人が見せてくれた、彼らの星から地球までの航行図も思い出した。
- それを見て、小学校の数学の先生が、地球近傍の星の3次元分布模型を天文台からデータを入手して作成(これは皆さんでもできます)、どの星かを特定した
  - ▶ レティクル座ゼータ星
  - ▶ しかし、よく見るとかなり違う…
- 催眠下では、得られる記憶は術者にかなり依存する。また、「ひょっとして宇宙人に誘拐されたのでは？」とっていると、偽りの記憶を作りだしてしまう。



# 他にも



## アメリカ・ミシシッピー州に現われた宇宙人

1973年9月から11月にかけてアメリカを襲った円盤ラッシュの真最中に、2人の釣人が突然降りて来た円盤に連れ込まれるというショッキングな事件が起った。

1973年10月11日午後8時頃、ミシシッピー州バスカグーラ川で釣りをしていた造船所の工員、チャールズ・ヒクソン(42才)とカーヴァン・バーカ



い光に照らされたのに気付いた。間もなく上空から青白く光る円盤が物凄いスピードで下りて来て地上50センチ位の所でヒタリと止った。すると円盤の表面がスルスルと口を開け銀色に光る小人のような宇宙人3人が空中をフワフワと浮いて近寄って来た。恐怖のあまり口もきけず失心状態の2人を宇宙人はフワフワと円盤の中へ運び込み、2人の身体検査をしたあけく再び元の場所へ送り帰して飛び去ってしまった。その時の宇宙人の顔は目がなくのっぺらぼうで尖った鼻らしいものが突き出ている、口は一直線、手はカニのハサミのようで、足先の先がなかったという。事件直後、ノースウエスタン大学のアレン・ハイネック博士とカリフォルニア大学のジェームス・ハーダー教授が催眠術を使って2人を徹底調査したが「彼等は真実を述べているとしか考えられない」と語っている。

P86右上から、被害者カーヴァン・バーカー、同チャールズ・ヒクソン、2人を調査したジェームス・ハーダー教授  
左下、バスカグーラ川の現場

# 古代

- マヤ・バレンケ遺跡の石棺のレリーフ装飾が、古代の宇宙飛行士を描いたものかと話題になった。
- 虚舟。「享和3年（1803）2月に常陸国（ひたちのくに 現在の茨城県）の沖に漂っていた UFOのようなあやしい船。（弘賢随筆）」

『UFOとポストモダン』より



図版⑥：バレンケ遺跡で見つかった石棺のレリーフ装飾の模写図

国立公文書館のウェブページより





# UFOと宇宙人

---

- **宇宙は広い。** この銀河系だけでも1千億個の星がある。その中には、地球型惑星を持ち、なおかつ液体の水が存在し、生命が発生する環境にあるものも少なくないはず
  - **宇宙人はどこかにいる、と考えるほうが自然**でしょう
  - ▶ 太陽系外惑星は続々と発見されている(2012年4月24日現在、763個。<http://exoplanet.eu>)。いずれ地球側惑星も発見され、液体の水やオゾンを持つ惑星も見つかるだろう
- **しかし、宇宙は広い。地球にやってこれるのだろうか？**
  - ▶ 銀河系の大きさは約10万光年。太陽の隣の恒星でも4.4光年。
- 宇宙人の乗り物としてのUFOは見間違いや願望・妄想の産物であると考えたほうが…
  - ▶ 星をUFOと間違える例も報告されている。「錯覚」「錯視」を思い出そう

# 宇宙人と人間社会

---

- なぜ「ある」と思うのかの心理・どのような宇宙人が妄想されてきたのかの社会学、が面白い（UFOは世につれ…）
  - ▶ 世の中が希望に溢れていると友好的・進歩的な宇宙人が、殺伐としてくると敵対的な宇宙人が登場するようになる
  - ▶ 目撃されるUFOも、映画などで登場したものにだいぶ影響されているように見える
- 色々なタイプの宇宙人が「目撃」されています。そのイラストを見ると、人間の想像力（妄想力？）の偉大さを感じます。人間って（いろんな意味で）すごいな、と。
- 一旦信じこんでしまうと、論理が通じなくなるー「それは真実を隠したがる者(政府、軍、NASAなど)の陰謀だ!」ーこれはUFO・宇宙人に限らず、トンデモ信奉者に共通する特徴。

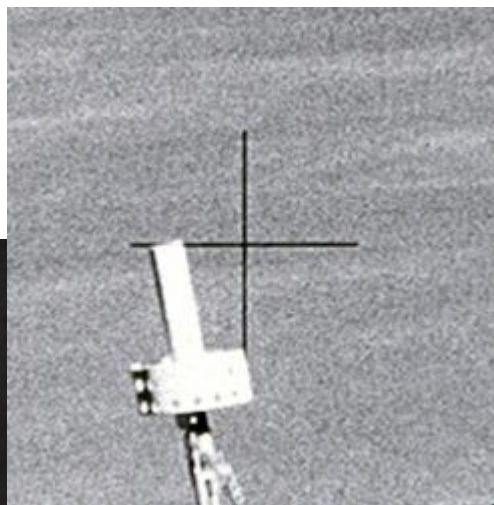
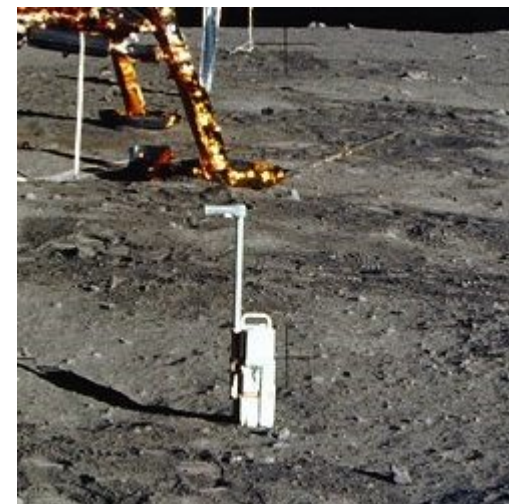
# Moon Hoax(アポロ計画陰謀論)

---

- アポロ計画：NASAによる月への有人宇宙飛行計画。
  - ▶ 月…人類が到達した最も遠い地点
  - ▶ 1961年開始。1969年に月着陸達成。
  - ▶ アポロ1号は地上訓練中の事故で3名焼死。
  - ▶ 4～10号は様々な実験(2、3号は欠番)。8号は月を周回して帰ってきた。10号は着陸船の実験で、月面から高度15kmまで接近(11号の予行演習)。
  - ▶ 11～17号は月に着陸(13号は途中事故のため月を周回して着陸せず帰還。映画になりました)。
  - ▶ 予算削減のため17号までで中止。
    - 莫大な金がかかる。技術があるだけでは月に行けない。
- アポロは月に行っていない、という説
- 日本でも評論家などが騙されてしまった

# たとえば…

カメラに刻まれた十字  
が被写体の後ろに隠れ  
ているのは、後から十  
字を書き加えたせい？



空気もないのに旗か  
はためいている？

影の向きが平行で  
ないのは、近くに  
光源があるから？



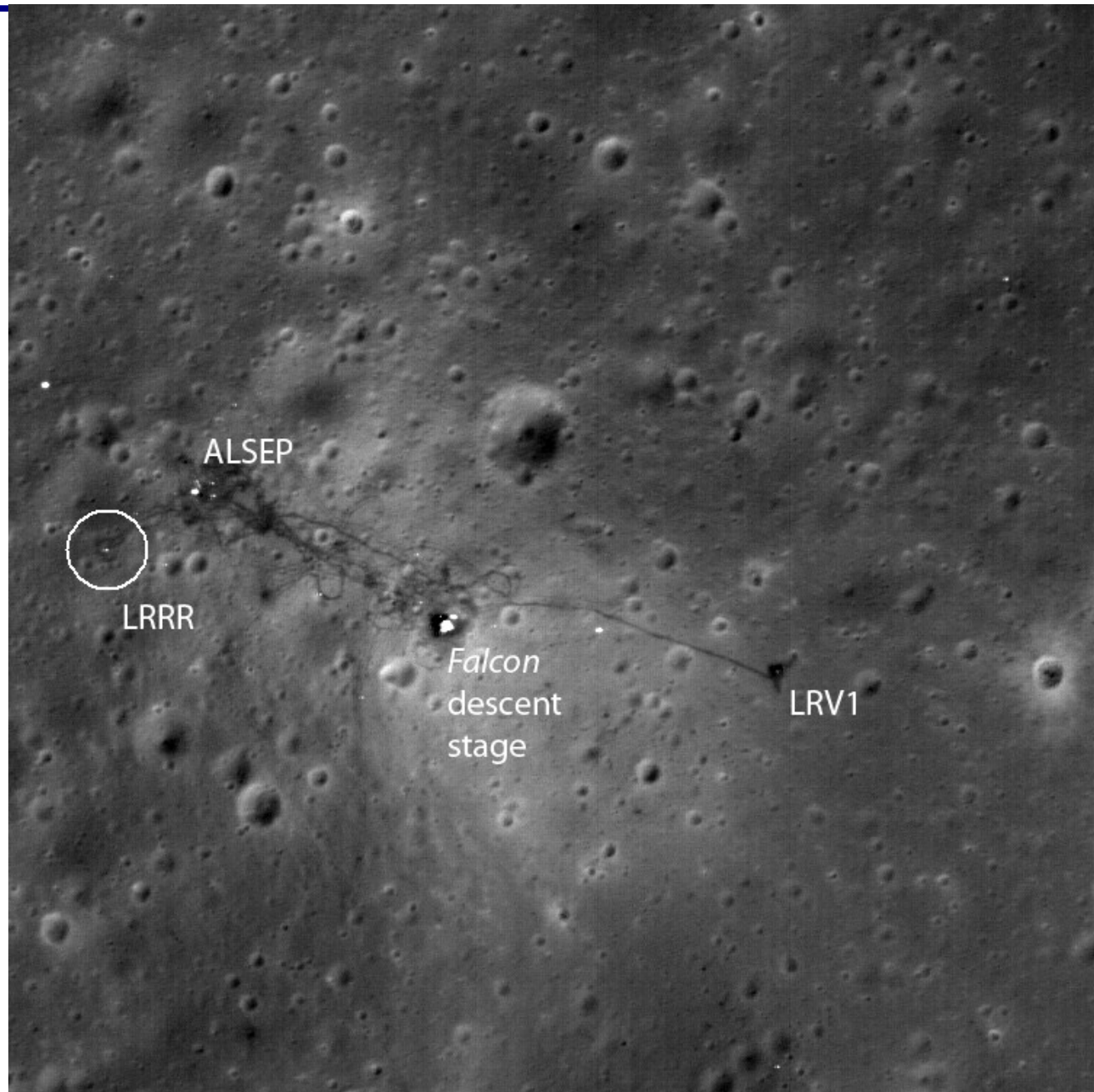
もちろん、どれも本物。  
JAXAのサイトを見てください！





# アポロの痕跡が撮影されている

- 月周回衛星Lunar Reconnaissance Orbiterによる写真。アポロ15号の痕跡が写っている。
- 日本の「かぐや」なども撮影している。
- それでも、一度信じてしまった人々は、政府やNASAによる陰謀、隠蔽工作だと信じて疑わない...



# ポイント

---

- 人は、往々にして「見たいものしか見ない」
  - ▶ 成功した超能力「実験」だけを見る
  - ▶ UFOは宇宙人の乗り物と主張する人の本しか読まない
  - ▶ 血液型が当たった人の例しか覚えない
- 結論先にありき、結論を導くためにロジックを構築
  - ▶ 超能力の演示が失敗したのは、疑う人がいるからだ
  - ▶ 宇宙人解剖フィルムの作成者と称する人物が現れたのは、真実を隠すためのNASAの陰謀だ
  - ▶ 健康になったのはマイナスイオン機器を使うようになったからだ
- 次に、現代社会における深刻な事例を見てみよう



# 歴史修正主義

---

- (ここでは)歴史の定説を否定・歪曲する試み
- 「ホロコースト否定論」…ホロコースト(ナチスドイツによるユダヤ人大量虐殺)はなかった、とする議論
  - ▶ 繰り返し現れ、ナチを免罪する役割を果たしてきた
  - ▶ 日本でも、『マルコポーロ』(文藝春秋発行)という雑誌にホロコーストを否定する記事が掲載され、廃刊に追い込まれた
    - 「戦後世界史最大のタブーーナチ『ガス室』はなかった」(西岡昌紀)
  - ▶ 編集長の花田紀凱は解任(現在は『WILL』編集長)
- 『なぜ人はニセ科学を信じるのか』(マイクル・シャーマー著、岡田靖史訳、1999年、早川書房)でも、全体の約1/4が歴史修正主義への批判にあてられている
- ここは日本なので、日本における歴史修正主義を例に<sup>33</sup>考えてみたいと思います

# 「南京事件なかった」と河村氏発言 中国からの訪問団に

『朝日』

2012年2月20日16時26分



この記事をストックする



印刷する

名古屋市の河村たかし市長は20日、姉妹友好都市である中国・南京市の共産党市委員会の常務委員ら一行の表敬訪問を受けた際、1937年の南京大虐殺を取り上げて「一般的な戦闘行為はあったが、南京事件というのはなかったのではないかと」発言した。

河村氏は理由について、事件後の45年に現地に駐屯した父親が優しくもてなされたことを挙げたという。

河村氏は09年の9月市議会でも、終戦を南京で迎えた父親の例を挙げて「オヤジは南京で本当に優しくしてもらった。大虐殺があったなら、こんなに優しくしてくれるんだろうか」と語り、「一般的な戦闘行為はあったが、誤解されている」と発言していた。

# 河村市長、南京発言撤回せず 「真意伝わらず遺憾」

2012年2月28日03時00分(『朝日』)

河村たかし名古屋市長は27日の定例会見で、南京事件を否定した自らの発言について「30万人もの非武装の中国市民を日本軍が大虐殺したことはないと思っており、『南京事件はなかったのではないか』と申し上げたことは撤回しない」と述べ、発言を撤回しない考えを改めて示した。

河村氏は会見の冒頭、「いわゆる南京事件を巡る一連の報道について」と題したA4判の2枚紙を読み上げた。旧日本軍による組織的な虐殺を否定する従来の持論を繰り返した上で、「相互理解を深めるために南京市側と意見交換したいという真意が伝わらなかったとすれば遺憾に思う」などと釈明した。

この日の会見には国内の新聞や週刊誌のほか、中国から香港の衛星放送フェニックステレビも参加した。虐殺の有無を問う質問に、河村氏は「虐殺という言葉の定義の問題になってくる。ぜひ（南京市と）率直に話し合いたい」と強調。フェニックステレビの記者が「（南京市の）使節団に対して不適切な発言だったのではないかと質問すると、「（面会の際は）終始友好的に話が進んでおり、（先方にとって）違和感のある発言ではなかったと思う」と訴えた。

河村氏は先週末、この日の会見で自らの発言に言及する姿勢を示していたことから、発言内容が注目された。ただ、石原慎太郎東京都知事が24日の会見で「正しい。彼を弁護したい」などと擁護したこともあり、河村氏の周辺は「石原氏の発言も受けて、以前よりも強硬な姿勢になっている」と話している。

河村氏は20日、名古屋市役所を表敬訪問した中国・南京市共産党委員会幹部らに、「南京事件というのはなかったのではないかと語った。中国側は訪問終了後から発言に強く反発し、愛知県の経済界からは「中国との新規取引に影響が出る」といった懸念の声が出ている。

(下線は引用者)

## ■河村市長の発言要旨

河村たかし名古屋市長が27日の記者会見で語った発言要旨は次の通り。

「いわゆる南京事件はなかったのではないか」との発言は、30万人とされる組織的な大虐殺はなかったのではないかとの趣旨だ。

発言の趣旨が、南京ではあたかも「何もなかった」と誤解され、南京市の使節団が「なぜその場で反論しなかったのか」と批判を浴びたと聞いた。（20日にあった）表敬は極めて友好的に進んでおり、使節団に責任はなく、遺憾である。

相互理解と友好親善を深めるために、南京市と率直な意見交換、話し合いをしたいという私の真意が伝わらなかったとすれば遺憾に思う。また、真意が伝わらなかったことで、民間の皆さまに影響が及ぶことがあってはならないし、南京市の皆さまにもそのようにお願いしたい。

南京事件に関しては、日中歴史共同研究の報告書でも、犠牲者数や虐殺の定義などにおいて両国の意見に相違がある。

「いわゆる南京事件はなかったのではないか」との発言は撤回しない。ただ、いろいろな意見や立場があることは理解しており、率直な議論ができる日が早く来るように、日中友好関係が本当に進むように心から願っている。

(下線は引用者)

# 日本政府の公式見解

---

- 外務省「歴史問題Q&A」より

問6. 「南京大虐殺」に対して、日本政府はどのように考えていますか。

1. 日本政府としては、日本軍の南京入城（1937年）後、多くの非戦闘員の殺害や略奪行為等があったことは否定できないと考えています。
2. しかしながら、被害者の具体的な人数については諸説あり、政府としてどれが正しい数かを認定することは困難であると考えています。
3. 日本は、過去の一時期、植民地支配と侵略により、多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大の損害と苦痛を与えたことを率直に認識し、痛切な反省と心からのお詫びの気持ちを常に心に刻みつつ、戦争を二度と繰り返さず、平和国家としての道を歩んでいく決意です。

# 河村発言について

---

- 「河村氏は理由について、事件後の45年に現地に駐屯した父親が優しくもてなされたことを挙げたという。／河村氏は09年の9月市議会でも、終戦を南京で迎えた父親の例を挙げて「オヤジは南京で本当に優しくしてもらった。大虐殺があったなら、こんなに優しくしてくれるんだらうか」と語り、「一般的な戦闘行為はあったが、誤解されている」などと発言」
  - ▶ 「優しくしてもらった」は、「大虐殺」がなかった証明にはならない→むしろ本人の偏狭さを反映しているのであろう
  - ▶ 一例だけではなんら証明にはならない
  - ▶ 「一般的な戦闘行為」などというものではなかった(事実関係の問題。後述)

# 河村発言について

---

- 「30万人とされる組織的な大虐殺はなかったのではないか」
  - ▶ 通説では、数万～20数万人程度
  - ▶ 歴史学者の中に「30万人」を主張する人がいるのか？
  - ▶ 「藁人形(ストローマン)論法」…相手の言ったことを歪めて引用し、言ってもいないことに対して反論する
  - ▶ 問題は「虐殺」だけではなく大規模な略奪や強姦も含まれる
- 「虐殺という言葉の定義の問題」
  - ▶ 勝手に定義を作ってしまうなんてでも言える
  - ▶ 積み重ねられてきた議論を無視する暴論
- これらは河村氏だけの問題ではなく、南京事件を否定する人々に共通の問題

# まずは通説を知っておこう

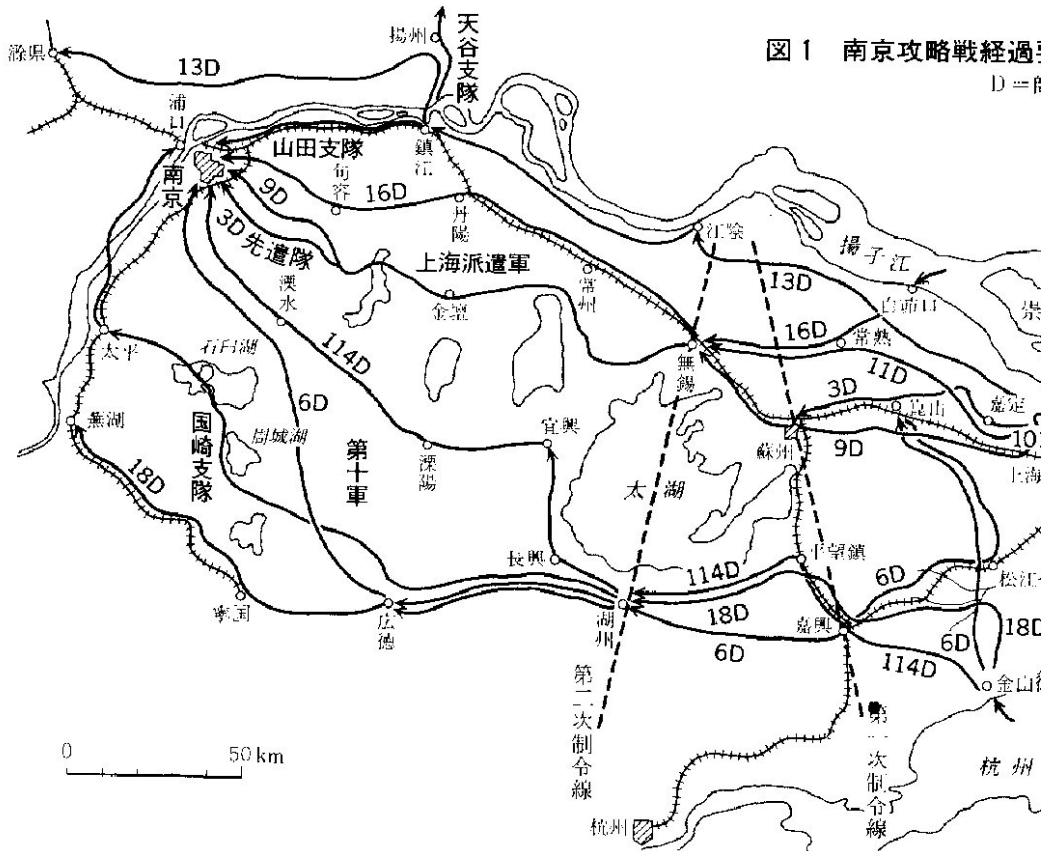
---

- 1937.7.7 盧溝橋事件(北京市郊外)
  - ▶ 7.11 現地では停戦協定成立、しかし同日、近衛内閣は増援部隊の派兵を決定
- 7.28 支那駐屯軍 総攻撃開始
- 8.14 上海への陸軍派遣決定
  - ▶ これに先立ち、陸軍は、これは「戦争」ではなく「事変」であるとし、戦時国際法は適用されないと決定。  
→勝手な理屈(捕虜の殺害は本来は違法)
  - ▶ しかし、予想外に強硬な抵抗に遭う
- 9.11 追加で大部隊の派遣決定
  - ▶ 3個師団のうち、2個は「特設師団」…常設ではなく、予備役・後備役の招集により作られた部隊。平均年齢が30歳を越えていた
- 10月 さらに増派、北支那方面軍からも部隊を転用

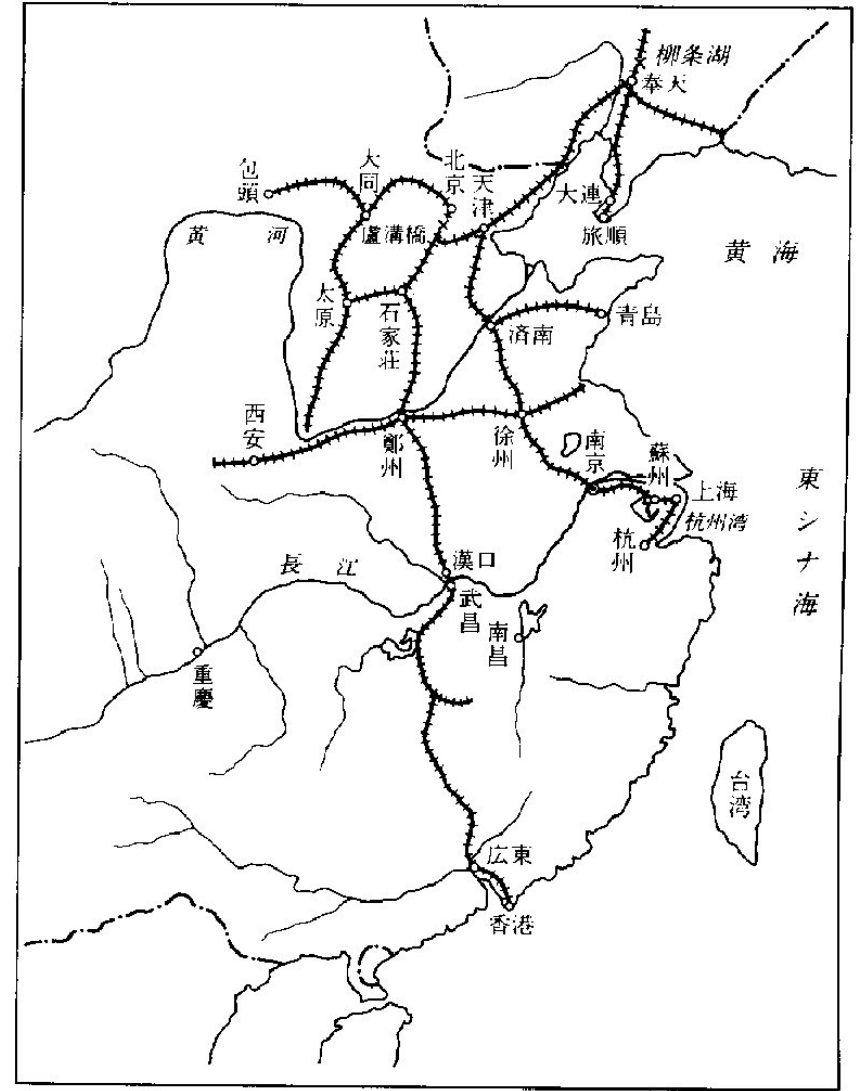


『南京事件』(笠原十九司)

『南京の日本軍』(藤原彰)



日中戦争要図



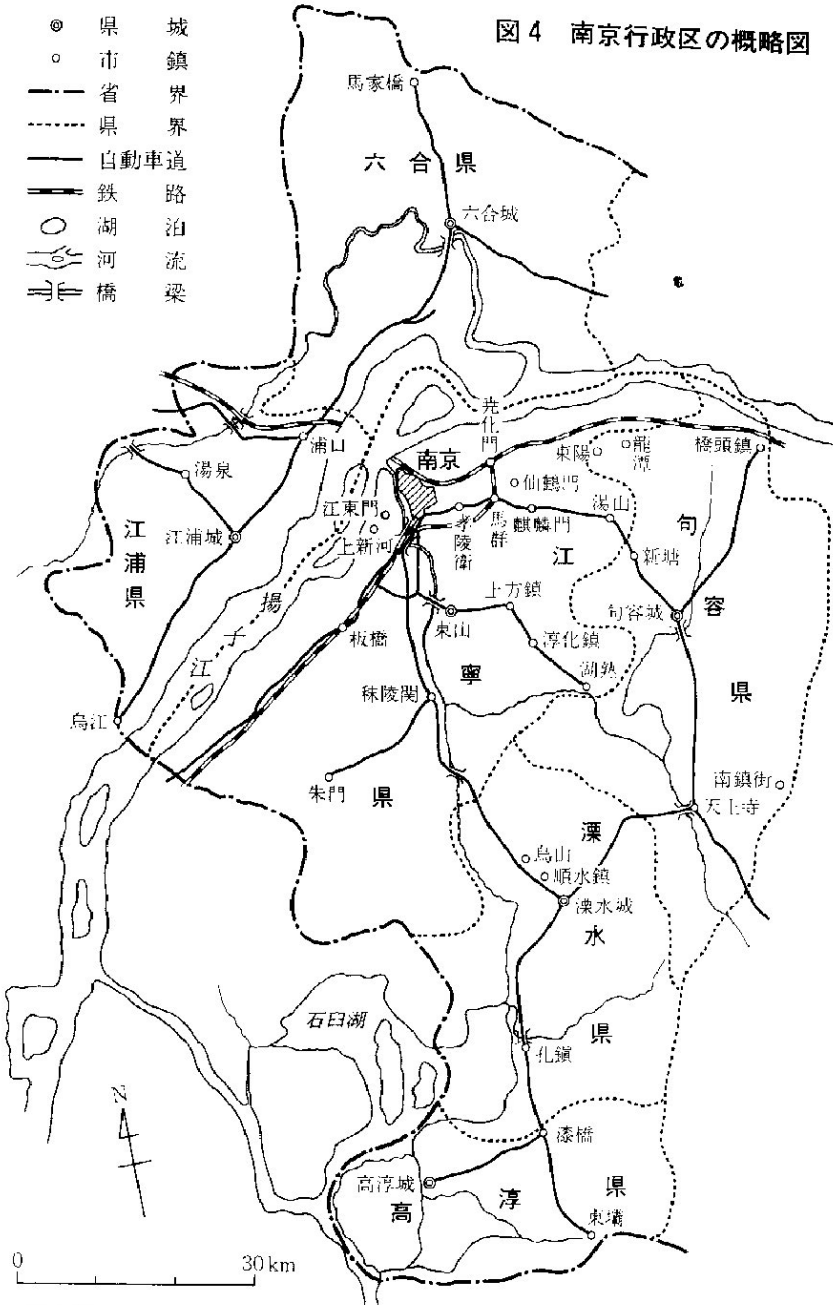
# 現役・予備役・後備役

---

- 徴兵検査で甲種合格→現役(2年)、その後予備役5年4月、後備役10年
- 乙種合格→補充兵役
- 平時は現役兵で構成、戦時は予備役を動員し、2.5～3倍の戦時定員を充足
  - ▶ 平時編制から戦時編制へ
- 戦時にはさらに後備兵を動員し、特設師団を編制
- 現役兵として町衆されるのは適齢人口の17%程度、約1/6の人のみが、17年4月の重い負担
- 後備兵は30歳前後。

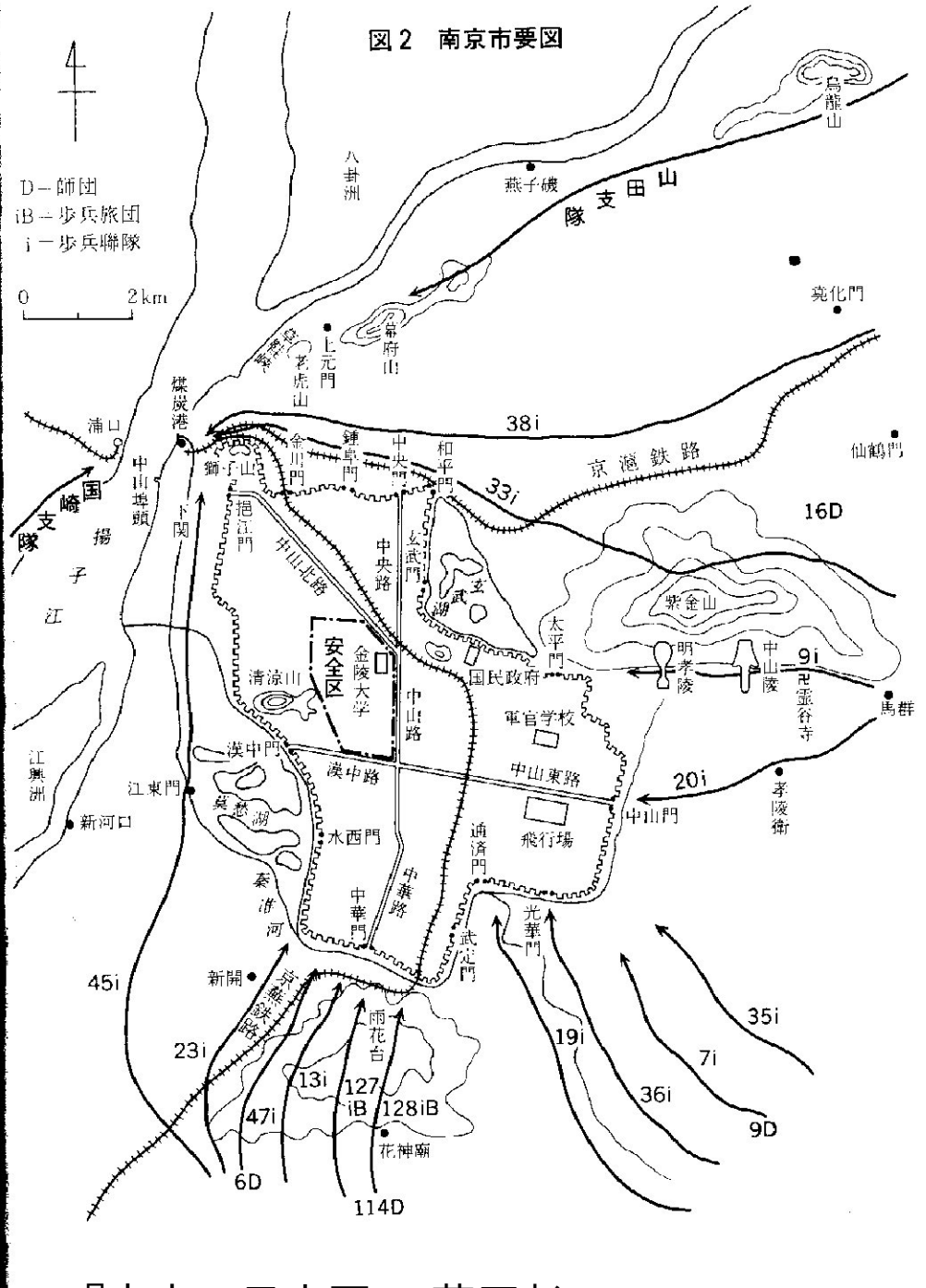
- ◎ 県市 城鎮
- 市 鎮
- 省 界
- - 縣 界
- 自動車道
- 鐵路
- 湖
- 河
- 流
- 梁

図4 南京市行政区の概略図



洞富雄『日中戦争史資料9 南京事件II』(河出書房新社, 1973)

図2 南京市要図



『南京の日本軍』(藤原彰)

支那方面艦隊 長谷川清中将

第三艦隊 長谷川清中将兼任

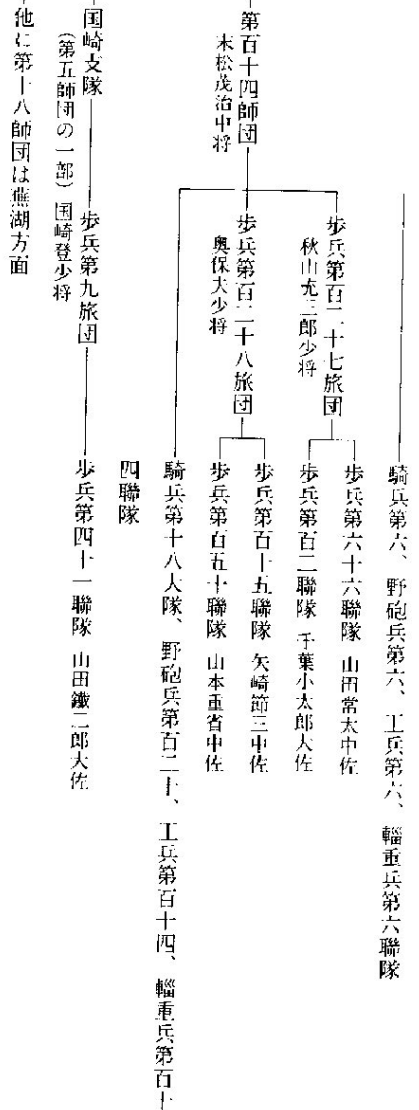
第十一戦隊  
近藤英次郎少将

安宅、堅田、鳥羽、八重山、栗根、蓮、保津、比良、勢多、嵯峨、  
第二十四駆逐隊（山風、海風、江風、涼風）、第一水雷隊（鵠、  
鴻）

(海軍)

### 第十軍

第十軍 柳川平助中将

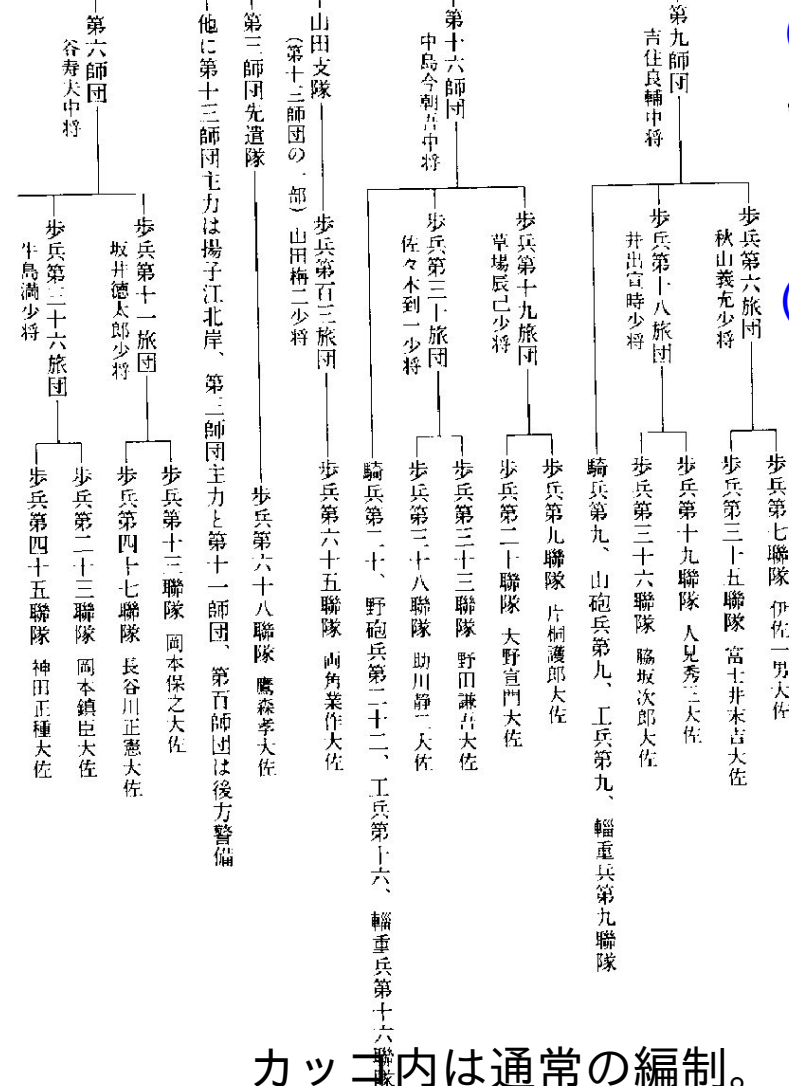


### 中支那方面軍

中支那方面軍 松井石根大将

### 上海派遣軍

上海派遣軍 朝香宮鳩彦王中将



(陸軍)  
師団 (二個旅団)

表1 南京攻略に参戦した日本軍主要部隊

旅団 (二個連隊)

連隊 (基本部隊)

カッ内は通常の編制。  
なお、その後師団は三個連隊で  
構成されるようになる(三単位師団)

# まずは通説を知っておこう

---

- 11.9 上海の中国軍、退却を開始
  - ▶ 日本軍の各部隊は独自に追撃(当初は上海攻略のみを目的としていた)。後に大本営が追認。
- 上海攻略戦…日本軍にも甚大な損害。戦死9,115名、戦傷31,257名。
  - ▶ これが中国兵・中国人民への憎悪を生む(無論、中国側から見れば逆恨みでしかない)
  - ▶ 既に上海戦で捕虜の殺害が発生(違法)
  - ▶ 「すべての民衆を敵とみなせ」…家屋の焼却
- 追撃戦は現場の独断。補給ができず、「現地調達」つまり略奪により食糧等入手した
  - ▶ 第一線が荒らしたため、後続部隊は略奪も困難に
- 12.1 南京攻略を正式に命令
- 12.8 南京防衛陣地への攻撃開始

# まずは通説を知っておこう

---

- 12.12 南京防衛司令官(中国軍)撤退命令
  - ▶ 南京死守を唱えていたため退却が遅れた
  - ▶ 10数万の防衛軍が取り残され、組織が崩壊、バラバラに逃げたり投降したりした
  - ▶ 大量の捕虜の殺害が発生(記録の多くが廃棄されてしまったため、詳細は不明。しかし残された戦闘記録や日記などから多くの部隊で殺害があったことは明白)
- 12.17 「入城式」
  - ▶ これに先立ち、城内の「掃蕩」を行った(難民20万人が逃げた国際安全区を含む)。兵士の「疑い」のある者を処刑していった(額の日焼けの跡などから勝手に判断)
- 南京は当時の首都のため、多数の外国人が存在
  - ▶ 南京安全区国際委員会がつくられ難民区(安全区)が設定
  - ▶ しかし掃蕩時に多数の殺害・略奪・強姦が発生
  - ▶ この「反省」により「慰安所」が作られるようになる

# 南京事件の本質と背景

---

- 虐殺・略奪・強姦

- ▶ 虐殺：捕虜の集団殺害(人数が多く、食糧の確保もままならず、殺害していった)、兵士・市民の処刑、強姦致死等の一般市民への残虐行為

- 背景

- ▶ 日本軍の特徴：

- 人権無視…暴力による服従、末端の兵士はそれを捕虜・住民に向けた
- 非合理的な精神主義…「捕虜は最大の恥辱」捕虜になることを認めないのであるから、相手国の捕虜の処遇も相応なものに
- 中堅幹部の下剋上…独断を追認していった

- ▶ 予備役・後備役兵が多く、30歳を越える兵士多数

- 家族持ち(一家の大黒柱)、上官が年下、幹部も予備役

- 南京事件は起こるべくして起きた、と言えよう

# 否定論の論法の例(1)

---

- デマの類

- ▶ 「東京裁判によるデッチあげだった」裁判で多数の証拠や証言が出されている
- ▶ 「事件当時、誰も事件のことを知らなかった」(だから戦後のデッチあげだ)南京は当時の中国の首都だったので多数の外国人がいた。彼らがリアルタイムで世界に報告していた。一方、日本では厳重な検閲により、徹底して隠されたため、多くの日本人は戦後になって初めて事件を知った。



# 否定論の論法の例(2)

---

- 間違った前提に基づく議論
  - ▶ 「当時の南京の人口は20万人なので、30万人が虐殺されるなどということはない」事件直前(1937.11.13)の南京市政府による文書では、南京城区の人口は50万人余、実際には城外から避難してきた人、城外へ避難した人がいるので流動的。これに加えて中国軍約15万人がいた。
  - ▶ 「何十万も殺害した現場を見た人はいない」一箇所ですら殺害されたわけではない。現場では全体像はわからない。多くの部隊／兵士による虐殺等の集積が南京事件。

# 否定論の論法の例(3)

---

- 数の論争に落とし込む
  - ▶ 「30万人以上ということが証明できなければ、すなわち虚構である」厳密な人数は今となっては求められない(証拠書類も焼却されてしまった)。
  - ▶ 藁人形論法(30万人以上と主張している日本人学者はほとんどいない)。
  - ▶ 略奪や強姦などを無視し、事件のごく一部の、まだ論争が残っているところのみを取り出しクローズアップさせてめくらましさせる。
  - ▶ 名前と顔と家族のある被害者一人ひとりの被害を無視。
  - ▶ 広島・長崎の被爆者の総数だって、厳密には論争がある。しかし、原爆がなかったなどと言う人はいない。

# 否定論の論法の例(4)

---

- 細かいミスを取り上げ、それをもって全体が虚構であるかのように描く
  - ▶ 写真の誤用を攻撃する：写真の出所を間違えることがある。例えば、「日本兵に拉致される中国人女性たち」というキャプションをつけて写真を引用したが、実際には中国国民政府によるプロパガンダ写真だった→その後訂正したが、これをもって全体を否定する
  - ▶ 写真は雄弁であるが、写真だけでは(良くも悪くも)証拠にならないことは肝に命じておくべきであろう

# 否定論の論法の例(5)

---

- 被害者証言についても同様
  - ▶ 当時8歳だった夏淑琴さんによる証言(一家9人のうち7人が殺害)中の年齢などが一致していなかったことをもって「信用できない」と攻撃
  - ▶ 英文資料を誤訳して誤解したまま「ニセ被害者」と攻撃
  - ▶ これを行った東中野修道・亜細亜大学教授は、名誉毀損で提訴された。東京地裁判決「被告東中野の原資料の解釈はおよそ妥当なものとは言い難く、学問研究の成果というに値しないと言って過言ではない」(その後最高裁で確定)
  - ▶ もっとも、学問の世界での相互批判により克服されるべきことが、司法に断罪されてしまったことは、アカデミズムのあり方としては問題なしとはできないだろう

# 否定論の論法の例(6)

---

- 写真に難癖をつける

- ▶ 「影の向きが違うので、トリック写真である」など。  
アポロ計画陰謀論と同レベル。



[http://www.nextftp.com/tarari/Matsuo/zanshu\\_hen.htm](http://www.nextftp.com/tarari/Matsuo/zanshu_hen.htm)

[http://www.nextftp.com/tarari/Matsuo/kage\\_uso.htm](http://www.nextftp.com/tarari/Matsuo/kage_uso.htm)

# 否定論の論法の例(7)

---

- 既に否定されているのに何度も繰り返して主張する
  - ▶ 否定本は大量に売られているが、中身は過去の焼き直しがほとんど
  - ▶ しかし、一般の人に「まだ論争があるのだ」と思わせることができる
  - ▶ 血液型性格判断やマイナスイオンは健康に良いなどと同様
- 「…『どっちもどっち』『ドロ仕合』といった嫌悪感が、日本人のなかに多数の傍観者を形成させ、南京事件の歴史認識の定着を妨げている大きな要因になっている。それこそ南京事件の事実を日本人に記憶させまいとする人たちや勢力の思う壺にはまっている。」  
(笠原十九司『南京事件論争史』、2007年、平凡社新書、p.17)

# 練習問題

---

- 鎌倉幕府が成立したのは何年でしょう？
  - ▶ 1192年? 1985年? それとも…
- 1180～1192年まで諸説ある。
- 一体何が真実? わかっているの？
- 多くのことがわかっている。
  - ▶ どうやってわかった? 誰か見てきたの？
- 何をもって幕府が成立したとみるかが変わってきた。どのよう<sup>に</sup>成立してきたかがわかっているからこそできる議論。

「鎌倉幕府否定論再論」(我が九条一麗しの国日本)より  
<http://d.hatena.ne.jp/Wallerstein/20120226/1330273346>

# まとめ

---

- 人は、往々にして「見たいものしか見ない」
- 結論先にありき、結論を導くためにロジックを構築
- 事実を受け止めること
  - ▶ つらい場合もある。信じていた自分を否定しなければならない。
- 全体像を描くこと
  - ▶ 論理的な整合性がとれているか。
  - ▶ 個別事象だけを見ていると間違える。「それができるなら、これもできるのでは?」「それが正しいなら、ここはこうでなければならないのでは?」



# おわりに

---

- 河村氏は、たまたま最近発言された政治家ということで取り上げました。他にも多くの政治家が(残念ながら)間違った事実認識のもとに南京事件を否定してきました。
- 今回は、あくまでも疑似科学という観点から歴史修正主義を取りあげました。科学的な思考の放棄、学問や真理を尊重しない態度がどのような結論に至るか、という点に焦点を当てています。
- 従って、歴史修正主義が現代社会において果たしている役割については触れていませんが、ぜひ、歴史修正主義が、人類が獲得してきた普遍的な価値観(自由や民主主義など)をどう否定しているか、そしてそのことが、未来を構築する上でどういう役割を果たしているかを考えてほしいと思います。

# 今週の課題

---

以下のような主張をする友人に対して、あなたはどのようにその問題点を指摘しますか？

「スプーン曲げは超能力だ!テレビでもやってたし、本にもそう書いてある」

〆切：5/9(水) 13:00 教養教育事務室のポストへ

※連休なので、半日〆切を遅らせました。〆切の時刻を間違えないように!

授業終了直後に、坂本キャンパス所属の学生から、月火は文教キャンパスに来ないという指摘があり、〆切を一日遅らせました

# もっと勉強するために

---

パンフレットの最後のページに挙げていない書籍・ウェブページを記します。

- 『南京の日本軍 南京大虐殺とその背景』 藤原彰、大月書店、1997年
- 『南京事件』 笠原十九司、岩波新書、1997年
- 『南京事件一虐殺の構造 増補版』 秦郁彦、中公新書、2007年

南京事件について勉強したい人・発言したい人は、ぜひこのうちどれか一冊ぐらいは読みましょう

今回の授業では、以下の2冊をベースにしています

- 『南京の日本軍』(上掲)
- 『南京大虐殺否定論13のウソ』 南京事件調査研究会・編、柏書房、1999年

# もっと勉強するために

---

- 南京事件一日中戦争 小さな資料集
  - ▶ <http://www.geocities.jp/yu77799/>
- 南京事件資料集
  - ▶ <http://kknanking.web.infoseek.co.jp/>
- 南京事件FAQ
  - ▶ <http://wiki.livedoor.jp/nankingfaq/>
- 南京事件の真実
  - ▶ <http://www.nextftp.com/tarari/index.htm>
- 「南京事件」143枚の写真&読める判決「百人斬り」
  - ▶ <http://www.geocities.jp/pipopipo555jp/>

他にもたくさんあります。